



「子育て支援」をテーマに研修 厚生常任委員会行政視察

10月31日～11月2日
(幸手市・境町・さいたま市)

厚生常任委員会は現在、「子育て支援」をテーマに所管事務調査を行っています。その一環として北関東で行政視察を行いました。幸手市（埼玉県）は「子育て応援日本一」を掲げ、保健福祉総合センターに子育て総合窓口を設けている他、じいじ・ばあばスターブックや紙おむつ用ごみ袋支給、学校給食費補助制度等、きめの細かい事業を行っています。

境町（茨城県）は若手の橋本正裕町長がリーダーシップを発揮して、総がかりで子育て支援を中心としたまちおこしに取り組んでいます。自動運転バスの試行や小児歯科の視点での子育て、無料の英語教育とまさに「**気づきの宝庫**」たる自治体でした。ふるさと納税で自主財源を確保し、事業を進める姿勢に脱帽した時間でした。

さいたま市は子ども家庭総合センターが子育て支援の中心拠点。子どもたちが自由にのびのびと遊べる環境に力を入れている点が印象に残りました。



▲ウェルス幸手にて

さきがけ 会派研修

10月19日～21日
(東御市・茅野市)

さきがけは長野県内で会派研修を行いました。東御市では「**小中一貫教育**」について学びました。その実践の基は不登校支援、ICT教育、ふるさと教育の3つで特に不登校支援については「子どもサポートセンター」を発足させ、役所内の福祉・教育関係部署が連携して取り組んでいます。また、学校内だけでなく地域の方々も参加して活動を強化しています。

茅野市では「**災害に強い支え合いのまちづくり条例**」を勉強。地域防災計画があるのにも関わらず、あえて防災に関する条例を制定したのは地域コミュニティの醸成を図る狙いがありました。急激な人口減少・少子高齢化の中で今後に危機感を抱いたことがきっかけです。

防災リーダーの育成や防災行政無線など、地域の力を引き出すことに必要な支援を行っています。



▲茅野市役所にて

「地方自治の制度と機構」でゲストスピーカー

11月7日
青森大学



横手市議会の議会改革研修でご縁を頂戴した佐藤淳・青森大学教授が担当する授業「地方自治の制度と機構」にゲストスピーカーとして登壇しました。この授業は地方自治体の職員や地方議員による講演という画期的な方式をとっています。

当日は「なぜ、議員になったのか?」、「今、力を入れていくこと」を中心に話させていただきましたが、一番伝えたかったのは「**政治に無関心であつても、無関係ではいられない**」ということ。政治って、実は生活に直結しているんだよ・・・ということを理解していただけたらと思っています。



ブログ「横手市議会議員 青山ゆたかの活動日記」好評(?)更新中! <http://blueyama.com/blog/>

フェイスブック: 青山豊 (yutaka aoyama)